

川越市教育委員会第5回定例会会議録

1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室

2 開 会 令和8年7月16日 午後1時30分

3 閉 会 令和8年7月16日 午後4時

4 教育長並びに出席した委員

新保正俊 飯島希 岡本紘子 鈴木朗 大石懷子

5 欠席委員 なし

6 教育長の職務を行った者 教育長 新保正俊

7 説明のため出席した者

・副教育長兼教育総務部長 今野秀則

(教育総務部)

・副部長兼教育総務課長 西野裕

・教育財務課長 水村将晃 ・地域教育支援課長 吉野泰弘

・文化財保護課長 粕谷勝 ・中央公民館副館長 加藤 英也

・参事兼中央図書館長 羽生田奈々絵 ・博物館長 鍛冶良知

(学校教育部)

・部長 早川美彦 ・副部長兼学校管理課長 馬場雅史

・参事兼教育指導課長 粕谷英之 ・学校給食課長 依田俊一

・参事兼市立川越高等学校事務長 松本秀規

・教育センター副所長 宮崎洋平 ・参事 新井偉雄

(文化スポーツ部)

・部長 奥富和也 ・副部長兼文化芸術振興課長 矢野雄一

・スポーツ振興課副課長 熊谷真一

(都市計画部)

・都市景観課長 池田麗子

8 前回会議録の承認

令和8年度第4回定例会会議録を承認した。

9 議題及び議事の概要

○議案第19号 川越市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の策定
について

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委員)

今度の展開について教えてもらいたい。

(学校教育部参事)

まずは本方針により、教育的視点から、規模・配置等の基本的な考え方を示すことができたと考えている。今後は、審議会等で審議いただきながら施設の老朽化等、様々な視点から具体的な計画を策定していきたい。

(委員)

「地区内1小1中については、児童生徒数が将来的に著しく減少する可能性も想定されることから、教育上の配慮から将来的には区域を越えた通学区域の再編も視野に検討を行っていく必要性があります」とあるが、再編を検討し始める基準のようなものはあるのか。

(学校教育部参事)

児童生徒数についての推計を毎年出しており、地区ごとの推計も出している。これらのデータを踏まえながら、今後検討していきたい。

(委員)

基本計画を今後どのように公表していく予定なのか。

(副部長兼学校管理課長)

基本方針に基づいて、基本計画を策定する。地域に根差した計画となるため、地域や審議会等で審議を重ねるなど、公表までのプロセスを丁寧に行っていきたい。

(委員)

通学区域について、小学校では4キロ以内とあるが、その基準及び測定方法はどのようなものか。

(副部長兼学校管理課長)

距離については、文部科学省の指針に従い設定している。学校を中心

とした半径４キロで、実際に児童が歩く距離ではない。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第２０号 川越市立学校職員服務規程の一部を改正する規程を定めることについて

（副部長兼学校管理課長）

【資料をもとに説明】

（委員）

今回の改正は、現場の教職員からの声によるものか。

（副部長兼学校管理課長）

教職員の働き方改革のひとつとして、国の方針に基づき改正するものである。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第２１号 川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱することについて

【非公開】

１０ 報告事項

(1) 川越市立霞ヶ関南小学校大規模改造（外部）工事請負契約ほか４件について

（教育財務課長）

【資料をもとに説明】

（教育長）

特別教室の空調工事進捗率はどの程度か。また全て終わるのはいつ頃か。

（教育財務課長）

令和７年度末の時点での進捗率は、小学校で３０．２％、中学校で７０．４％、小中学校全体で５０．３％である。現在、中学校から優先的

に工事を進めており、令和 9 年度に全ての中学校が完了となり、その後令和 15 年度に全ての小学校が完了する予定である。

(委 員)

名細小学校トイレ改修工事では、3 社の入札業者のうち 2 社が辞退しているが、どのような経緯によるものか。

(教育財務課長)

入札に先立ち、まずは意向を募り、その後入札を行う。そのため、業者が同時期に入札があった他の工事を落札できた場合、限られた人員等の中でうまみのある工事を比較し、一方を辞退されてしまうケースがあると察する。

(委 員)

入札不調の事例とその場合の対応について教えてもらいたい。

(教育財務課長)

令和 6 年頃から入札不調となるケースが増えている。学校は工事を実施できる期間が限られているため、現場の人手不足の中で工期が集中する工事件数が多い等の話は聞いている。入札不調の対応としては、工事内容や業者の地域要件、入札のランク等を見直すことで対応している。

(委 員)

イラン情勢の影響はあるか。

(教育財務課長)

ヒアリングした中では、特に聞いていない。工事に関して、直接的な影響は出ていないが、部品の調達等に関する影響はあるのかもしれない。

(2) 川越市立川越小学校のクスノキの状況について

(教育財務課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

川越小学校のクスノキを診断するに至った経緯はどのようなものか。

また、他の学校で類推されるケースはあるのか。

(教育財務課長)

近年の強風によって樹木が倒れる事例が起きている。川越小学校のクスノキは道路にも近く、かなり大きな木であるため、診断を実施することになった。相応の費用がかかる診断をするべきかという判断は難しいため、疑いのあるものは、打診等簡易的な検査から行っていくことになると考える。

(委 員)

各学校の樹木の管理責任は学校にあると思うが、ある程度特定できる大きな木は、教育委員会で把握しておく必要があるのではないか。

(副教育長兼教育総務部長)

近年クビアカツヤカミキリの被害が確認されている中で、本市でも関係部局が一堂に会して対策会議を複数回行った。その後クスノキの診断を行うことになり、検査したところ、空洞率が高かったため、危険度等を鑑みて対応することになった。

(委 員)

手を加えれば元気になる可能性のある樹木はどうか。土が固くなって木が弱っているということがある。安易に伐採だけを考えるのではなく、緑の財産として文化的教育的視点からも再生できるものは再生してもらいたい。

(副教育長兼教育総務部長)

樹木は季節の移ろいを感じるものとして重要である。教育委員会としても、再生の道も同時に探っている状況である。薬を注入することで回復する例もあるので、安全を最優先にしたうえで再生の道も探っていきたい。

(3) 令和8年度以降の部活動地域展開の取組について

(副部長兼文化芸術振興課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

指導者を確保するための取組はどのようなものか。

(スポーツ振興課副課長)

スポーツ協会やスポーツ少年団等に声をかけるほか、近隣の大学とも連携を図っていく予定である。

(委 員)

地域クラブに入りたいと思っているこどもの割合を把握しているか。

(スポーツ振興課副課長)

ある学校では、1～2割はすでに地域クラブに入っていると聞いている。地域クラブと市の直営クラブのどちらにも登録いただいて、どちらも選択できるようにしてもらえればと考えている。

(委 員)

県の補助金は令和10年度までだが、その後は受益者負担となるのか。

(副部長兼文化芸術振興課長)

現時点で令和11年度以降の国からの方針が示されていない。補助金があるようであれば、当然見直していく。

(教育長)

直営地域クラブとはどのようなものか。

(副部長兼文化芸術振興課長)

市が直接クラブの運営に関わり、これまでの部活動に代わり、こどもたちに体験の機会を提供するために地域の力を活用していく組織である。

1 1 協議事項

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書(案)について

【非公開】

1 2 その他

- (1) 議案第 2 1 号は性質上公開になじまない事務事業に関する情報に、協議事項(1)は意思決定過程における情報にあたることから、これらの審議に係る会議を公開しないことについて、全出席委員が承認し、当該審議については非公開として取り扱うことに決定した。
- (2) 議案第 1 9 号の関係者として学校教育部参事の出席について、議案第 2 1 号及び協議事項(1)の関係者として都市景観課長の出席について、報告事項(3)の関係者として文化スポーツ部長、文化芸術振興課長、スポーツ振興課副課長の出席について、全出席委員が承認し出席が認められた。
- (3) 会議録の署名委員として鈴木委員、岡本委員が指名された。
- (4) 次回教育委員会は、令和 8 年 8 月 1 9 日（水）午後 2 時開会に決定した。